

第2回「前田純孝賞」入賞作品

(一般の部)

前田純孝賞

どの道もまっすぐ行けば浜に出る不思議な村に君は生まれぬ

鳥取県鳥取市 松本 由紀子

準前田純孝賞

乳搾るはたちの春の眉澄みて牛飼う家に嫁ぐ日を待つ

兵庫県豊岡市 野口 清

かけ足の桜前線追いついて北へ北へとハンドルを切る

高知県高知市 坂上 正

石室のかまどごまのひげゆるやかに撥ねてしんそこ淋し秋の日

奈良県桜井市 浦 萌春

里帰り昼寝の吾の傍らに母の気配す語るでもなく

兵庫県三原町 山田 恵子

川底の岩と戯る若鮎の反す腹この白き砂ずり

兵庫県美方町 長野 亀雄

しのめの薄くなれなみにほのぼのと鳥が鳥呼ぶこゑやはらかし

兵庫県朝来町 今村 明美

海面割り躍り上がれる一頭の巨鯨の落体船を揺すれり

アメリカ・サンフランシスコ 吉富 憲治

遺骨なき父の最期の地を見むとレイテ四月の草を分け入る

山口県下関市 赤梨 和則

母の着し着物の衿を憶はせて峰が抱き合ふふるさとの山

兵庫県一宮町 岡本 光代

しつとりと波音を消す通り雨少年のまま見送っている

兵庫県神戸市 松本 修

浜坂町長賞

夢に見し但馬の海の風景が裡に秘めたる既視感を呼ぶ

大阪府門真市 豊島 由子

ヘルパーのわれ待ちくるる老のもと著莪咲く小道足早に行く

和歌山県花園村 梶 和子

ざぼん熟れくちなし匂ふ蓬萊の里に欠くもの紅葉の栄え

台湾台北市 吳 建堂

時の流れとまりし如く静かなり玉石垣ある里の夕映

東京都八丈町 笹本 理恵

父の顔覚えぬ我は折にふれ母の語りし面影を追う

兵庫県春日町 青木 一枝

潮風を防ぎてくるる松原も空より見れば海に抱かる

兵庫県浜坂町 西村 清野

まれにくる黄蝶はだれの化身なる血縁絶えたる故郷に住みて

兵庫県稲美町 荻野 千鶴代

幼き日複式授業で学びたる我が学舎は廃校となりき

兵庫県竹野町 仲治 光治

ただ五人霧の中より現われてわが村の子は学校へ行く

兵庫県山南町 河津 壽賀子

自転車の旅人は背に輝ける翼を持ちて峠登れり

北海道釧路市 藤田 幸江

浜坂町教育長賞

浜坂の芦屋の浜に見付けたるワカサハマギク今年も咲きぬ

京都府福知山市 森 道信

風向きの変われば聞こゆ川向かう校外授業の学童の声

新潟県新津市 松本 光枝

音絶えし青野の昼を鳴き上る雲雀が告げる空の深さを

兵庫県今田町 清水 矢一

映る空またぎゆかむとせし時にたまゆら消えぬ水たまりの空

滋賀県米原町 宮崎 眞弓

鉛色の干し柿まるく連なりて影移りゆく明り障子に

福岡県那珂川町 小原 藤加

愛猫に指噛ませつつ語り聞かす髭を剃り居る人の身勝手

山口県田万川町 高津 良枝

遊んでとしきりにせがむ人参を夕べ無人の市場に買いぬ

兵庫県豊岡市 河合 尚子

疲れたる眼窩を庄せば現るる幾何学模様を楽しんでいつ

兵庫県豊岡市 水口 奈津子

ふたたびの童衆となりし老母とみる今年の落葉にかさなる落葉を

千葉県松戸市 猪野 富子

多勢のひとに読まれてゆたかなり海を背に佇つ落葉の歌碑よ

兵庫県浜坂町 園田 竹子

神戸新聞社賞

びくに入り騒ぎていたる鮎やがてびくに馴れゆき静もり泳ぐ

鳥取県鳥取市 佐々木 徳永

巨大なりまた矮小でもある満月が照らす大地の自転の速さ

愛知県蟹江町 田中 徹尾

紅い陽が西に墜ちても恐ろしくないのは君のホラー小説

千葉県松戸市 五十嵐 眞理

今日こそは愛しているを思い切り言う筈だったしおかせ通り

福島県いわき市 吉田 健一

ベネチアのガラスの色はあじさいの紫になり水色になり

兵庫県神戸市 小福 秀子

一家族の長靴買ひて冬に入る但馬の婚家に子は帰りたり

兵庫県加西市 時里 作治

遠き日の記憶たどりて訥訥と故里語る畏友老いたり

兵庫県関宮町 西上 公正

過疎となり老人多き山里に朝日の如く花嫁が来る

秋田県本荘市 小松 藤助

北に向く矢城岬の遊歩道ワカサハマギクが日留りに咲く

兵庫県浜坂町 松川 健次

純孝の若くりりしきうつしえに悲運のかけはいまだみられず

東京都板橋区 工藤 溪子

(中・高校生の部)

浜坂町教育長賞

太陽を背中で受けとめめいっばいボールを蹴ってゴールをめざす

愛知県立一宮高等学校 松原 秀憲

もう一年早く生まれていたらばこんなに遠く感じはしない

兵庫県立浜坂高等学校 山崎 美穂

こんなのがなつかしくなるのだろうか並んだ机と古びた教卓

浜坂町立浜坂中学校 濱田 葉子

友達がどんどんキレイになっていくさては何かをかくしているな

大阪府夕陽丘高等学校 今田 真由美

奨励賞

ちらちらと落ち着きがない僕の視線今日もさぼってあの子を見てる

愛知県立一宮高等学校 横山 了潤

夕空を赤色の川流れゆく空に向かって犬鳴いている

津名町立津名中学校 斉藤 剛司

病室のベッドの上で見るものは近くのベンチと遠き日の夢

兵庫県立浜坂高等学校 尾崎 幸長

家を出る校舎に入る知らぬ間に違う自分がつくられていく

大阪府夕陽丘高等学校 岡野 大嗣

夏の空船の形の雲がゆくその真下ゆく白い釣り船

大阪府夕陽丘高等学校 平川 友輝

学校でべんきょうしててかえってこんな生かつもつつかれたよ

浜坂町立浜坂中学校 仲山 衛

いつの間に過ぎ去るものかは知らぬまま我が身さまよふ瞬間の流れに

京都府立菟道高等学校 嶋田 有希子